

トヨ子&としやの 市政報告

2019年
2月号
第42号

発行者：日本共産党大垣市議団
発行日：2019年2月1日
連絡先：大垣市室本町5-8
Tel 78-6865 Fax 73-8572



笹田トヨ子 企画総務委
Eメール sanba1@sasada-toyoko.jp
中田としや 文教厚生委
市民病院に関する委 副委員長
Eメール nakatatoshiya015@gmail.com



岐阜県政に向けての共産党の公約

豪華な庁舎ではなく 県民の生活に根ざした県政を

借金1兆数千万円の岐阜県が 550億円の県庁舎建設

岐阜県の2018年度予算をみると、県債は1169億円となっており、主に普通建設事業の財源に使われ、年度末の県債残高は1兆5773億5200万円と過去最高額を更新、県民一人当たりの借金は76万3383円になります。このような借金依存体質の中で岐阜県庁舎の建て替え工事がすすめられています。年に1度程度しか使用されない迎賓機能をもつ応接室、ふれあい会館があるのに、第2期工事では県民サービス棟の建設が予定されているなど、県民からは「財源は大丈夫なのか」「もっと節約した機能的な建物にできないのか」といった声が出ています。

一方で、県の乳幼児医療費助成制度を義務教育まで引き上げて欲しい」「小人数学級を実現するため教師の採用を増やして欲しい」

といった県民の要望には全く見向きもしないといった現状です。これも、県議会がオール与党のなかで、県民の生活実態や願いに背を向けハコモノ造りに終始してきた岐阜県政の結果です。

共産党笹田トヨ子のお約束

I. 若者の雇用・労働条件

ダブルワークをしなくても、8時間労働で生活できる賃金の保障を！

- ① 最低賃金を1000円以上に。
- ② 長時間労働のブラック企業をなくす。

II. 医療・介護・福祉・教育

- ① 子どもの医療費無料化、義務教育まで拡充。

現在、大垣市の子どもの医療扶助費9億300万円（内県補助1億7515万円）ですが、県が義務教育（中学3年生）まで医療費の助成制度を実施すれば、大垣市に対して

は約2億5千万円の県補助が増えることになります。

② 小人数学級の実現

少子化で児童数が減り、県採用の教師が200人減らされたとのこと。教師を減らすことなく確保していれば、30人学級は早く実現でき、教師の長時間過密労働も解消されます。

③ 払える国保料にするため、国保料の大幅引き下げを。

昨年4月から、国民健康保険は県が保険財政を一括管理することになり、市町村に対して納付金額を割り当てることになりました。全国知事会は「国保料の高いのは構造的問題」と国に対して1兆円の国庫支出金を要求しています。県は国に要求するだけでなく、県独自に、子どもの均等割を廃止するなど、保険料を引き下げるべきです。

トヨ子&としやの1月活動日誌

笹田トヨ子

【1月】

2日 初街宣
4日 旗開きと大垣市党新年会
6日 出初式 後援会役員会
9日 西濃社保協
10日 女性後援会
社保協
13日 街頭宣伝・生活相談
15日 ロボットデモ
16日 街頭宣伝
17日 上石津集い・西美濃福祉会
会
18日 西濃民商 新春のつどい
19日 興文婦人会発表会・新年会
20日 北地域後援会
22日 生活相談
25日 西濃議員団会議
26日 西濃地区共産党新春のつどい

中田としや

【1月】

2日 新春街頭宣伝
4日 党旗開き
9日 新春議員懇談会
10日 県党地方議員研修会
12日 保育園新春コンサート
13日 シネモクラブ
14日 成人式
15日 市役所ロボット試験導入
19日 『みんなでごはん』
20日 保育園もちつき大会
22日 議会ICT化に関する委員会
24日 笠木町現地相談
25日 西濃議員団会議
26日 党西濃地区決起集会
2分の3成人式
28日 市民病院現地相談
30日 養老鉄道ネットワーク

手をつなぎ、未来につなぐ

市民と野党のつどい

とき 2月21日(木)午後6時30分～
ところ スイトピアセンター学習館6階にて

登壇者(予定)…梅村慎一氏(立憲民主)、伊藤正博氏(国民民主)、
高木光弘氏(共産)、森 廣茂(社民)、各層市民団体、他

主催 ピースハートぎふ 連絡先 河合法律事務所 ☎058-262-7997

箏曲・コトで楽しむ新春のつどい 武田参議の訴えに 西濃の候補者決意新た



1月26日、4月の統一地方選挙と7月の参院選挙で野党共闘と日本共産党の躍進を目指して、日本共産党西濃地区の新春のつどいが行われました。県議選に立候補を予定している

笹田トヨ子市議会議員と大垣市議選に立候補予定の現職中田としや議員と新人はんざわ多美市党福祉対策委員長が挨拶しました。

1部は、琴の演奏ではじまり、女性後援会ミモザ花の会のコトで盛り上げ、二部では中央弁士武田良介参議院議員が「野党共闘を成功さ



せ安倍政権を退陣に追い込むためには、共産党が伸びなければならない。統一選挙では全員当選させるため頑張りました」と訴え、最後はゲンちゃんの掛け声で「ガンバロー」を三唱しました。



地方選挙政策アピール

暮らしに希望を力を あわせ政治を変えよう

共産党は、地方選挙政策アピールを発表しました。その概要を紹介します。

国の2019年度予算案(右表)では、消費税10%増税、年金実質減額、介護保険料の引き上げと暮らし関連の予算は抑制される一方で、過去最大の軍事費、大規模開発の公共事業費が見込まれています。

こうした国の予算に地方も影響を受けざるをえません。いま地方は、住民の暮らしの困難、福祉・医療の危機、地域経済の衰退、災害の復旧と備えなど、多くの課題に直面しています。そこに加えて安倍政権は“地方こわし”一国の制度改悪による社会保障削減や、「広域連携」「集約化」と称した都市部での中心市街地への開発と立地の集中、学校や病院、公営住宅をはじめ公共施設の統廃合・縮小、上下水道の広域化・民営化などをおしすすめています。

地方自治体が、政府の“いいなり”で住民に負担を強いるのか、それとも国の悪政から住民を守る役割を発揮するのか、それが今度の統一地方選挙の大きな焦点です。

日本共産党は、次の四つの転換をかかげ、その実現のために、住民のみなさんと力をあわせて全力でがんばります。

① 国の悪政の“防波堤”福祉と子育て、暮らし最優先の地方政治へ

- 国保料を引き下げます
- 介護保険料・利用料を軽減します。介護労働者の労働条件を改善します。
- 保育士の処遇改善をすすめます
- 学校給食を無料化します
- 公共交通を維持・確保します

② 大型開発依存、カジノ誘致をやめ、地域の力を生かす産業振興、地域の活性化をはかる

- 非正規から正規雇用への転換を促進し、安定した雇用を守ります。

③ 防災と被災者支援の抜本的強化へ

- すべての住宅の耐震診断・耐震補強を促進します
- 災害対応職員を増員し、体制を確保します

④ 住民の声がとどく行政・議会への転換

- 公共施設の集約化に反対します

暮らし・経済どうなる 2019年度予算案

消費税増税	10月から10%に引き上げ 増税対策 ・中小小売店でのキャッシュレス決済にポイント還元 ・自動車税を減税 ・住宅ローン減税を3年延長
社会保障	「自然増」を1200億円圧縮 ・大企業などに勤める40～64歳の介護保険料引き上げ ・生活扶助基準の児童養育加算・母子加算の引き下げ 年金を実質0.5%減額 低所得者の後期高齢者医療保険料引き上げ
保育	3～5歳児の幼児教育・保育の無償化(給食費は自己負担)
教育	国立大学運営費交付金のうち1000億円を傾斜配分 新規採用者の英語力を小学校英語専科教員の加配要件に
大企業・富裕層	研究開発減税の拡充 株式譲渡益、配当所得の優遇税率(20%)を温存
公共事業	7年連続増。河川、砂防、道路など防災・減災対策 整備新幹線、東京外環道、首都圏空港機能強化など大型開発を増額
軍事費	7年連続増で過去最高5兆2574億円 「いずも」型護衛艦「空母化」改修調査費7000万円 FMSで米国製高価兵器購入7013億円
原発・エネルギー	新原発開発費を新規計上

箏曲・コントで楽しむ新春のつどい 武田参議の訴えに 西濃の候補者決意新た



1月26日、4月の統一地方選挙と7月の参院選挙で野党共闘と日本共産党の躍進を目指して、日本共産党西濃地区の新春のつどいが行われました。県議選に立候補を予定している

笹田トヨ子市議会議員と大垣市議選に立候補予定の現職中田としや議員と新人はんざわ多美市党福祉対策委員長が挨拶しました。

1部は、琴の演奏ではじまり、女性後援会ミモザ花の会のコントで盛り上げ、二部では中央弁士武田良介参議院議員が「野党共闘を成功さ



せ安倍政権を退陣に追い込むためには、共産党が伸びなければならない。統一選挙では全員当選させるため頑張りました」と訴え、最後はゲンちゃんの掛け声で「ガンバロー」を三唱しました。



はんざわ多美の 市政ウォッチング

公園の整備

家の近くの西公園の日曜日。15時ごろでしたが、鬼ごっこや遊具遊び、自転車で遊ぶ子どもたちやお散歩する高齢者で公園はにぎわっていました。大人もあわせて80名ぐらいいましたでしょうか。休日の午後の幸せな公園の光景でした。

西公園は、障がい者も利用できるバリアフリーのきれいなトイレが整備されています。また、公園から道を挟んですぐのところに無料でとめられる駐車場があります。大きな木がたくさんあって親さんはそこで子どもを見守れます。遊具は小さい子どもが遊べるものから木製のアスレチック調のものもあります。芝が敷かれた程よい丘があるので少し大きい子どもも鬼ごっこを楽しむにはちょうど良いのでしょうか。桜や藤棚、芝も整備されています。子どものころに大好きだった遊び場の風景は、大人になっても故郷の良き思い出の場所となります。大垣を故郷とする子どもたちに、さらにいい公園を市として整備していくことを求めています。

保育園の待機児童問題と 保育士の確保

大垣市の保育園の待機児童はゼロと発表されています。確かに4月の新入園の時期は数字上ゼロとなっているようです。しかし、年度途中に保育園に入ろうとすると特に0歳～3歳児は待機児童になってしまっているという現状があります。いわゆ

「子育て日本一大垣」 をめざして



はんざわ多美

る隠れ待機児童といわれる子どもたちです。来年度は10月から消費税増税と引き換えに保育料が一部無料(給食費以外)になるということがいわれています。保育園への入園希望者が増えることが想像されます。

一方で、先日長らく公立保育園の教員をされてきた方々にお会いしました。「保育現場は常勤保育士が過重労働のため辞めてしまう事態があり、残った先生でさらに大変。子どもたちを十分に遊ばせる余裕がなく管理に追われることになってしまっている現状がある」「常勤保育士採用のための募集方法の改定や辞めない工夫を市に求めています」とお聞きしました。待機児童の解消と保育園の充実。そのためには保育士の人材確保や労働環境の整備など市が取り組むべき課題があります。

留守家庭児童教室と 放課後学級

小学生期の授業後の子どもの居場所として大垣市には留守家庭児童教室があります。対象は共働きなどで放課後留守家庭になる家庭の児童です。最近は働くお母さんが増えて希望児童が増加していて、空き教室や指導員不足が課題となっているとのことでした。保育園と同じく、待機児童をつくらない対策が必要です。また、大阪から引っ越してこられたあるお母さんは言います。「うちは留守家庭ではないけれど、子どもが家に帰ってきて毎日の宿題のことで

親子関係が悪くなってしまう。大阪にあったのだけど、地域の人や親が関わる常設の子どもの居場所が大垣にもあるといい」。大阪には、「放課後学級」という文科省の補助金をうける制度があり、子どもたちや地域の方々の居場所として学校が機能しています。

留守家庭児童教室(学童保育所)の充実をどのように進めるのかを検討するかたわら、今後は、例えば留守家庭児童教室(学童保育所)という選択肢だけではなく、親が働いているか否かにかかわらず利用できる「放課後学級」という選択肢を大垣市でも設置の検討をすすめることも必要だと考えます。

どの子にも幸せな子ども時代を

♪サクラ咲いたら一年生
♪ひとりでいけるかな
♪となりにすわっていいのかな
♪ともだちになれるかな
.....
♪チョウチョがとんだら一年生
♪カバンは重いか
♪眠たくなったらどうしよう
♪給食はうまいかな
♪誰もが最初は一年生
.....

今年の4月に小学一年生になる息子が口ずさんでいました。小学生になる期待と緊張が伝わってきます。どの子も幸せな子ども時代を。福祉・教師政策の充実が欠かせません。